



【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名：秋田県バスケットボール協会	
場所：琴丘総合体育館(Bコート)	記入者：小納 英之 根市 総	
チームA 金井 77 (山形1位)	19-16 14-8 21-6 23-15	チームB 45 北陵 (岩手2位)

スターター	チームA： #4, #5, #7, #12, #16
	チームB： #4, #5, #7, #10, #11
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン (3-2) <input type="checkbox"/> その他 ()

第1ピリオド、金井マンツーマンディフェンス、北陵3-2ゾーンディフェンスでスタート。先制点は北陵。#7 八重樫の3Pを皮切りに3連続得点で0-8と主導権を握るかに見えたが、金井は#7 會田の3P、#4 前田のゴール下での得点などで逆転に成功し、残り2分29秒で16-8とリードを広げる。ここで北陵がタイムアウトをとり流れを引き戻す。このあと北陵#4 池田、#5 阿部による4連続得点で差を縮め19-16の金井3点リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、開始早々北陵は金井のアウトサイドシュートに対しプレッシャーを強め、#4 池田の3Pで19-19の同点とする。しかし、金井は#5 大戸のハイポストからのジャンプシュート、#7 會田の速攻、さらにはミドルシュートを中心とした攻撃で着実に加点し、徐々にリードを広げる。この間全く得点できていない北陵は、29-22と7点差となった残り3分4秒に前半2回目のタイムアウトをとり局面を打開しようとする。しかしタイムアウト明けも流れは変わらず、金井は#5 大戸の連続得点でさらに点差を広げ、33-24、金井9点リードで前半を終了した。

第3ピリオド、金井の流れは止まらない。#5 大戸の連続得点、#4 前田の3Pで40-24と一気に点差を広げる。残り5分48秒、ここで北陵はタイムアウトを請求。ディフェンスをマンツーマンに切り替え、#5 阿部がオフェンスリバウンドから得点する。一方の金井は残り4分15秒にタイムアウトをとり、1on1と速攻を中心にオフェンスを組み立て、さらに点差を広げる。結局54-30の金井大量リードで第3ピリオドを終える。

第4ピリオド、勢いに乗った金井は#4 前田のポストプレイ、#5 大戸、#7 會田の1on1などが面白いように決まり、69-32と一時37点差まで点差が広がる。北陵は#5 阿部が、このピリオドだけで13得点と孤軍奮闘し、一矢を報いるものの、結局77-45で金井が勝利を収め、決勝トーナメント進出に向けて幸先の良いスタートを切った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。